

## 第6次白老町総合計画策定委員会（第5回）会議要旨

日 時：令和2年5月22日（金）10:30～11:20

場 所：白老町役場 第2会議室

出席者：竹田委員長、古俣副委員長、安藤教育長、高尾委員、大黒委員、下河委員、久保委員、  
富川委員、川崎委員、鈴木委員、有村委員、谷野委員、中谷委員 13名

事務局：工藤課長、温井主幹、金子主事、吉井主事

### 1. 開 会

### 2. 報 告

#### （1）特別委員会における質疑回答について

##### ○ 事務局から説明（資料1）

##### 【富川委員】

- ・これまでウポポイの防火対策については、消防と国とで協議を進めてきた経緯がある。資料1の2ページ目の質疑No.6に対する回答は実態を捉えていない答弁であると感じた。

#### （2）第6次白老町総合計画調査特別委員会報告書

##### ○ 事務局から説明（資料2）

質疑等なし

### 3. 議 事

#### （1）第6次白老町総合計画（上程案）の確認について

##### ○ 事務局から説明（資料3）

##### 【中谷委員】

- ・計画書54ページの1-10地域情報化について、昨今のコロナウイルスの影響により、ICTの活用が大きく注目されている。子どもからお年寄りまで誰もがICTを活用できる趣旨を計画内に盛り込んでいただきたい。  
→ 現状と課題、基本事業（1-10-1）の中に追記します

##### 【富川委員】

- ・計画書54ページの1-10地域情報化のめざす姿について、「ICTの恩恵を受けて」という文言は受動的な印象を受けてしまう。

##### 【下河委員】

- ・SDGsについて、用語解説にも追加してはどうか。

##### 【久保委員】

- ・計画書8ページの①まちの概要の下から5行目「ウポポイが～開設します」を「ウポポイが～開設されます」という表現に修正した方が良いのではないか。  
→ ご意見のとおり修正します

- ・計画書130ページのノーマライゼーションの用語解説で「障害のある人も～」は「障がいのある人も～」に修正した方が良い。
- ご意見のとおり修正します

○ 学識経験者より一言

【鈴木委員】

- ・人口減を受け入れた計画策定は非常に大変だったと思う。総合計画が幅広く、総花的になってしまうのは仕方がないが、今後策定する実施計画は、量より質を重視した実効性のあるものにする必要がある。計画の目的は作るのではなく、実行することにある。

【有村委員】

- ・第5次策定時から人口減についての議論はあった。人口減と向き合っていくうえで、今後はビフォーコロナ・アフターコロナのような感染症対策など、新しいテーマにも対応していく必要がある。地域情報化の指標を例にあげると、現在はブロードバンド加入率を指標としているが、量だけではなく質の向上も大切であり、他の技術や人との連携が今後ますます重要になる。攻めたアクションプランで計画を実行してほしい。

4. その他

今後のスケジュール

○ 事務局より説明

- ・実施計画の策定があるため、今後も当委員会は継続する。

5. 閉会